

日経
NIKKEI
CONSTRUCTION

工事ラクション

6
2022

▶特集

建設DX、 注目政策一気見せ

▶特集

今こそあえて海外へ

▶ファーストニュース

らせん状に裂けた水中の鋼管杭
資材高騰で注目集まるスライド条項



■ 高エネルギー吸収型落石防護網

強靱防護網(きょうじんぼうごあみ)

特許第6130092号、第6355291号、実用新案第3220402号

●概要

落石対策便覧(平成29年12月)の実験による性能検証法に基づいて性能を実証した、高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網である。

●性能

① ネットタイプ_200kJ・400kJ・700kJ・1,000kJ・1,400kJ・2,500kJ・5,000kJ、ロープタイプ_2,700kJ(それぞれ構造は異なる)

●特徴 ①縦ワイヤロープを排し、

高強度な金網・横ワイヤロープに緩衝金具を組合わせた構造の「ネットタイプ」と、縦・横にワイヤロープを格子状に配置し、緩衝金具を組合わせた構造の「ロープタイプ」がある。

②性能検証実験は、一度載荷した供試体の部分修復と再載荷を必ず実施し、性能回復も実証済みである。

③緩衝金具は工場組立て済みの為、施工時の手間を大幅に削減した。

●NETIS登録申請中



●実験による性能検証の様子
(ネットタイプ5,000kJ)

●施工実績
(ネットタイプ2,500kJ)

斜面の安全・安心研究会

〒950-0954 新潟市中央区美咲町1丁目8番1号
(株)シビル内

TEL.025-283-3450 FAX.025-282-5058

URL: <http://s-spm.jp/>

E-mail: info@s-spm.jp

■ 鉛直式崩壊土砂防護柵・雪崩防護柵

スロープガードフェンス工法

NETIS登録番号:HR-100008-VR★

スロープガードフェンス工法は、急傾斜地の土砂崩れや落石・雪崩から民家や道路を守る鉛直式防護フェンスである。

■特長

- ①NETIS評価促進技術に選定
- ②独自技術を用いた高耐力の支柱と基礎部を一体化した杭基礎構造
- ③支柱を直接地山に建て込むため、軟弱な地盤や狭隘地に設置が可能
- ④柵高の調整により土砂や雪崩を堆積させるポケット部の確保が可能

積させるポケット部の確保が可能

●タイプLE(崩壊土砂対策向け)
パネル式ワイヤネット構造で土砂のすり抜けがない。また、ワイヤネットは支柱間ごとに脱着可能なため、土砂捕捉後の堆積土砂の排出が容易にできる。

●タイプLS(雪崩対策向け)
斜面圧雪や堆積時の荷重、雪崩衝撃力を考慮した設計が可能で、雪崩予防・雪崩防護対策に適用できる。



スロープガードフェンス タイプLE

スロープガード工法研究会

事務局

〒950-0973 新潟市中央区上近江4-2-20 日生第2ビル
(株)プロテックエンジニアリング内

TEL.025-280-9981 FAX.025-280-9982

URL: <http://www.slopeguard.jp/>

E-mail: info@slopeguard.jp

■ 景観保全型落石対策工

岩接着DKボンド工法

NETIS登録番号:SK-980021-VE★

【概要】

DKボンドモルタルを岩盤の亀裂開口部等へ充填し、閉塞・接着させることによって浮石を基岩と一体化し、落石を未然に防止する工法である。

【効果・特長】

本工法の施工は、風化作用による岩盤の緩みを防ぐとともに、開口部等に集中する応力を分散させるため、地震等の繰り返し荷重に対する耐久性に優れており、高い落石予防効果を発揮する。

を發揮する。

①山腹等において、高いポテンシャルが潜在する巨岩や高所岩にも適用できる。

②自然岩群を現状のまま固定でき、施工跡も風景に調和するため、自然公園や景勝地等では特に有効な対策となる。

③地物の改変や構造物の新設等が無く工事設備も軽微なため、他工法との併用が容易である。

●国道29号 兵庫県栗(しろう)市内防災工事



一般社団法人全国落石災害防止協会

事務局

〒700-0808 岡山市北区大和町1-1-30

第二建設(株)内

TEL.086-227-7311 FAX.086-227-7312

URL: <http://www.dkbond.co.jp/>

E-mail: daini123@mocha.ocn.ne.jp